

96 猪方小川塚古墳

歴史的資産



【推薦コメント】

なし

【講評】

民間事業者の開発事業として、平成23年度に狛江市まちづくり条例に基づき手続きが進められた場所です。埋蔵文化財包蔵地に該当している場所であったため試掘調査を実施し、墳丘を取り囲む周溝が検出され、開発事業敷地の一角に残された盛土が古墳の一部であることが明らかとなりました。その後の発掘調査から、古墳は直径22mほどの規模を持つものであったと推定されます。墳丘の多くはすでに削平されていましたが、調査の進展に従い、遺体を埋葬した古墳の中心部である主体部が残されていることが明らかになりました。

主体部は、切石を積んで築造された横穴式石室であり、これまで狛江の古墳は、竪穴式の石室を持つものと考えられていたため、横穴式石室をもつ古墳の発見は狛江の古墳時代を考える上で貴重な発見となります。狛江古墳群はこれまで5世紀半ばから6世紀半ばの約100年間に築造されたと考えられてきましたが、今回発見された古墳は7世紀代のものと推定されます。これにより、狛江古墳群の築造期間はこれまで考えられていたよりも長い期間で考え直す必要があり、今後、狛江古墳群の様相を再検討する上できわめて貴重な事例です。民間事業者と協議し、狛江市で計画敷地の一部を買い取りました。

この猪方小川塚古墳が狛江古墳群の様相を明らかにする事例となることを願い、評価しました。

受賞者：なし

推薦者：高橋 正俊 さん